



SSKP

つくしんぼの会報誌

つくつく通信

「つくしんぼ」はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

1997年2月号
(No.8)

編集~フリースペース
つくしんぼ
町田市小川1511番地
TEL 0427(96)8468

父親の会のようないもの

う。父親
同志で語
り合う機
会が今ま
でなかつただけなんです。でも、こんな機会を作ること自分が、またなかなか大変だつたりするのですけど……。

男はだまつて……

2月1日(土)に行われた「豆

まき&おでんパーティー」の夜、

後片づけはお母さん達に任せ、

張り出された感じのお父さん達

はつくしんぼの近所にある居酒

屋へと繰り出しました。

実はこの男だけの飲み会、父

親達の自主的なものではなく、

お母さん達によって仕組まれた

ものでした。

「ウチのお父さん無口だし、恥

ずかしがり屋だし、よそのお父

さんと共通の話題もないだろう

し、きっとお通夜みたいな飲み

会になっちゃうわよお」お母さ

ん達はそう言って笑っていたの

ですが……。

女房がいなけりや天国だ

飲み会に参加したのは、父親

た相模原の作業所の指導員さん

の計五人。一つのテーブルを囲

むだけの少人数の会でしたが、

それがかえって良かったような

気がします。

話題がないだろう、なんてと

んでもない!! 父親だって、障

害をもつ子どものことを真剣に

考えているんです。ただ悲しい

かな、生活費を稼がにやならない

い。それゆえ、自然なことに子ど

ものなどを母親任せにしてしま

酒は涙かため息か……

ほんと、ささやかな飲み会

で、要するに、父親達だけ

でもやろうと思えば出来ると

いうことが、そこでは証明されて

いるわけです。

♪♪♪つくしんぼ日記♪♪♪

1月30日(木) 天気 晴れ

この日の絵画造形教室で、子ども達は鬼のおめんを作りました。もちろん、節分の豆まき用のおめんです。

赤鬼と青鬼はもちろん、緑鬼、ピンク鬼、オレンジ鬼まで次々と完成し、そいやもううラツル、ミラクル、ビコーティツル!!

髪の毛は毛糸を貼って作ったし、ちゃんと立体的な耳もつけたし、あとは豆まきの日を待つだけ……。

このおめんをかぶって鬼の役を演るのは、お父さん達の役目と既に染まってます。

鬼に向かって思い切り豆を投げつけるのは、子ども達ではなく、日頃ウツブンだらけのお母さん達じゃないのがな~?

そうなると、本当の鬼は一体誰なんだろ???



みずの圭さんがいらっしゃいました!!

鬼のお面作りをしていた
絵画造形の日、我がつくしんぼ「ママがなばつて」でお馴染みの漫画家みずの圭さんと雑誌『ウイール』の編集の方々がいらっしゃいました。

『ウイール』は障害者のバリアフリーを応援する季刊の生活情報誌で、その雑誌の中にもみずのさんは、「みずの圭のフレンドパーク」というページを担当されており、その取材のためにわざわざいら

して下さったのです。

「活動を始めたいけど、集まる場所が見つからないお母さん達が多い中、つくしんぼのように活動の拠点を持っているグループはとっても羨ましいです……」みずのさんにそうあつしゃつて頂き、つくしんぼのお母さん達は何だかとっても嬉しくなつてしまいまして。

『ウイール』の次号の発行日が今から待ち遠しい私達です。

ちやっかりサインまで残ってひまつている、お譲りお手のつくしんぼのお母さん達です、はい。

絵画造形教室に参加なさいませんか?

つくしんぼでは、毎週木曜日の午後三時~五時に、高尾真理子先生による絵画造形教室が開かれています。

絵を描いたり、粘土工作をしたり、クリスマスリースやお正月飾りや鬼のお面を作ったり、とっても楽しいひと時

です。一回分の参加費は、材料費+おやつ代で百五十円です。高尾先生のご好意により、つくしんぼの子ども達に限りらずどなたでもどうぞということになりました。参加希望の方はつくしんぼまでご連絡下さい。



【お問い合わせ】
前号に記載した賛助会ご入会の方々の中から十屋様、清水様のお名前が抜けておりました。私共の不手際で迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。

【寄付&ボランティア】
ありがとうございました
高尾様、藤本様、TEES様、近藤様、湯川様、土屋様、越川様、(株)千葉電設様

(1月)

